

9月15日に8人が 一般質問をしました。

一般質問とは…

議員が村長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など、諸問題について報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

一般質問項目一覧表

- ① 上田光彦議員 ……9ページ
 - 1. 村内に増える空き巣被害対策、村の取り組みは
- ② 鈴木康祐議員 ……9ページ
 - 1. ふれあいの郷を村の駅に
 - 2. 押しボタン式の信号機を
 - 3. 台風に備える防災対策は
- ③ 井田晴己議員 ……11ページ
 - 1. 防災訓練の見直しは！
 - 2. 被害状況調査は！
 - 3. ドローンの導入を！
- ④ 小川政徳議員 ……13ページ
 - 1. 服岡地区「古川」の地盤沈下対策
 - 2. ごみ収集事業への提案
 - 3. 村内を走る、車両速度の抑制を
- ⑤ 伊藤秀樹議員 ……14ページ
 - 1. 北拠点避難所の活用は？
 - 2. フリーWi-Fiの設置を
- ⑥ 渡辺一弘議員 ……15ページ
 - 1. 対向車確認の表示板設置を求める
 - 2. 野菜作りの推進を
- ⑦ 橋本 渉議員 ……16ページ
 - 1. 健康の森公園に健康遊具を設置せよ
 - 2. 職員の再任用は65歳まで雇用せよ
- ⑧ 服部康夫議員 ……17ページ
 - 1. 梅之郷と新政地区の一部の再開発を



村政を問う

皆さんの傍聴をお待ちしています

議会の詳しい内容は、図書館に備えてある会議録をご覧ください。飛島村公式ホームページをご覧ください。

<http://www.vill.tobishima.aichi.jp>

Q. 村内に増える空き巣被害対策、村の取り組みは

A. 警察との連絡を密にし、防犯対策をより確実なものとしていく



上田光彦 議員

問 最近、渚地区において、たびたび空き巣被害が発生しています。村の取り組みは。

答 ○村長
村内の空き巣被害につきましては、非常に憂慮すべき事態と考えていて、愛知県警察・蟹江警察署と連携し、防犯対策に取り組んでいるところですが、

また、本村では、村民の安全・安心を確保すべく、青色パトロールカー等で巡回を実施しています。

今後も、警察との連絡

を密にし、防犯対策をより確実なものとしていきたいと考えています。

村では、個人又は企業向けの防犯対策補助金の上限額を倍増させ、さらにその額まで何度でも使用できる制度とする等、村民の皆さまの防犯対策への取り組みを支援しています。

答 ○村長
地区が管理する

防犯カメラは、現時点で本村には補助制度がありません。これは、防犯カメラの性質上、広範に録画することで犯罪の抑止効果は期待されるものの、特に個人のプライバシーを侵害する可能性が懸念されるためです。今後は、懸念される問題点を解決した上で、地区が防犯カメラを整備する補助制度を創設することについて、他の自治体での導入例を参考に検討していきます。

問 地区を守る地区が管理する防犯カメラの設置、または電柱などに村が管理する防犯カメラの設置を要望します。



防犯カメラ

問 空き巣被害が発生した時、蟹江警察署と連携して、同報無線で犯罪発生からできるだけ早い時間で、村内に啓発・広報してほしい。

答 ○総務部次長
蟹江警察署と連携して、同報無線および携帯電話等を活用し周知を図るよう検討していきます。



鈴木康祐 議員

Q. ふれあいの郷を村の駅に

A. 関係機関と話し合いながら、実施方法などを検討していく

問 国は、「まちひとしごと創生総合戦略」で一人ひとりが、家庭で、地域で、職場でそれぞれの能力が発揮でき、生きがいを感じることができるようにするための支援を身近な地方公共団体に求めています。が、どう取り組むのですか。

そこで提案なのですが、ふれあいの郷を「村の駅」として整備することとを以下の点を考慮して求めます。

- ・ネギ、ほうれん草などの農産品の販売、加工品の開発それに伴う資機材の提供。
- ・飛島村をアピールする農産品の開発。
- ・新規農業者の就農できる政策、農業塾の開催。
- ・豊根村、南種子町の特産品販売。

飛島村は一番裕福な村と言われていますが、村民は外の方が思うほど裕福ではないはずです。

農地という資産を生かし、村民一人一人に希望と豊かさの実感が持てる村作りをするための、飛島村の発信基地としての「村の駅」の実現を求めます。



ふれあいの郷

答

○村長

加工品などについては、昨年度より取り組んでおります地域創生事業にて本年度も継続して行い、試作品を作り、商品化につなげていきたいと考えています。

加工などに必要な計画や人材登用については、産直市をふれあいの郷を含めたどの場所に、どの

ように拡大していくのか計画が必要になってくると考えています。

飛島村をアピールする農産品については、飛島村にとって必要なものであると認識しています。

生産者の方々やあいち海部農業協同組合さんなどと話し合いながら進めていくことが必要であると考えますので、相談をしながら検討をしてまいりますと考えています。

新規就農される方々へは、国や県が相談窓口を設けていますので、ご利用いただければと考えます。

村独自の支援が必要であると考えられる場合は、どのような支援が有効であるのかを調査検討してまいります。

豊根村、南種子町の特産品については、どの場所、どのような特産品を販売するかも含めて流通の確保をしてまいりますと考えています。

Q. 押しボタン式の信号機を

A. 信号機設置を要望していきます

鈴木康祐 議員

問

飛島学園が開校するときから、通

学路の横断歩道に信号機をと要望しているが、どうなっていますか。歩行者感知システムも作動しないときがあり安心して横断できるよう、設置に向け公安委員会に根拠よく要望をし、実現せよ。

答

○村長

村内各所には、信号機設置が望まれる箇所があると思慮するところで。

その中には、児童生徒が通学路として利用する、県道境政成新田蟹江線の交番前や、村道竹之郷・梅之郷線の横断する交差点等があります。

しかし、信号機の設置は公安委員会の権限で決



交番前

定されるものであり、設置にあたっての諸条件に該当しなければならぬ

等、以前においても、これら条件に適合させることが叶わず、いまだ未設置の状況である場所もあります。

今後は、それら信号機設置が望まれる場所へ設置していただけるよう、設置に係る要件整理を進めつつ、機会をとらえ、公安委員会に対し要望してまいります。

Q. 台風に備える防災対策は

A. タイムラインに基づいたBCP訓練を実施していく

鈴木康祐 議員

問

台風が今年も多くの被害をもたらしています。私は地震に備える以上に対策が重要と考えるが、飛島村のタイムラインは策定して

いるのか。また来襲時に防災無線が重要となってくるが、多くの防災ラジオに不具合が出てきている。デジタル式の防災ラジオの開発をし、再度配布を要望する。

答

○村長

先日の防災訓練でも実施した「土のう」を備蓄していて、必要な方には配付をしています。また、高齢者世帯等は、必要に応じて、職員・消防団員等が協力して事前に土のうを積む等の援助を実施しています。

台風は、規模や進路等が、ある程度予想できることから、独居の高齢者等に早めの避難の呼びかけなどに努めています。

本村の消防団員は、水防団員も兼務していて舟艇訓練等を毎年実施していて、台風災害等に備えています。

村は、昨年度に風水害時の「タイムライン」を策定しています。また、

木曽川下流河川事務所などの関係機関等との連携を密にするため、定期的に会議等を行っているところです。

風水害に係るBCP訓練（業務継続計画訓練）は、

台風等の被災時に、村の通常業務が滞ることがないように、しっかりと計画

を立て、それに基づいたBCP訓練を実施する予定をしています。

デジタル式の防災ラジオについては、今後の検討課題としていきます。



BCP訓練

Q. 防災訓練の見直しは！

A. 愛知県との合同訓練等を検討していきます。



井田晴己 議員

問

各避難施設において地区ごとに災害に対する基本的な避難訓令等を実施されており

ますが、大規模災害に対する村全体での訓練を実施する考えはないのか。

答

○村長

総合防災訓練は、3年のローテーションで村内の全世帯に参加していただいています。また、訓練の内容等については、区長を始め、自主防災班長、消防団分団長の方々と検討会を開催していま

す。

大規模災害に対する防災訓練は、村単独ではなく、本年度に弥富市で予定されている大規模災害を想定した愛知県との合同訓練を飛鳥村でも実施できるように愛知県に要望をしていくなどの検討をしたいと思っていますところ。

問

大規模な災害に対する訓練も必要であると思いますがいかがですか。

答

○総務部次長

大規模な訓練も必要であるという認識から、県との合同訓練を招致する方向で検討していきます。

問

防災訓練に対する成果の検証はされたのか。

答

○総務部次長

アンケート結果等を集計・分析して今後の訓練の検討課題としています。



防災訓練

Q.被害状況調査は！

A. 避難所の屋上に防災カメラを設置し被害状況を確認する

井田晴己 議員

問

役場庁舎に防災センターの建設をされておりませんが、被害状況調査についてどのような方法を考えているのか。

答

○村長

河川の状況や被害状況を安全に確認するため、各避難所の屋上部分に防災カメラの設置等を計画しています。各施設等のカメラとの連携についても検討しており、災害対策本部へ映像情報等を集約するような検討をしています。

災害時等に、職員が現場確認をする被災状況等の映像をそのまま転送できるタブレットの導入についても検討しています。

問

タブレットの導入も検討されているとのことですが、導入の時期及び導入台数を教えてください。

答

○総務部次長

平成29年度にスマートフォンサイズのタブレットを2台購入する予定です。



日光川排水機場の監視カメラ

Q. ドローンの導入を！

A. 災害時に活用するドローンの導入について検討を進めていく

井田晴己 議員

問

防災センターが設置される中で村独自で情報収集することができるよう小型無人機「ドローン」の導入をしたらどうか。

答

○村長

ドローンは災害時の情報収集において、大きな活用の可能性を秘めている有効な手段だと思っています。

ドローンの操作方法の習得や、ドローン自体の価格が高価であるため、他市町村の導入状況等を踏まえ検討していきたい。また、企業等との協定について、今後検討していきたいと考えています。

問

災害時にドローンとオペレーターの派遣を要請することについては、災害時に派遣要請は他市町村でも考えることで要請は不可能と考えますがいかがですか。

答

○総務部次長

協定等を締結し整備を進めていく。

また、村で購入することについても、並行して検討します。

問

ドローンの導入はしていただけるのかお聞きします。

答

○村長

今後導入に向けて検討を進めていく。



ドローン

Q. 服岡地区「古川」の地盤沈下対策

A. 鋼矢板護岸の取り換え工事を行う



小川政徳 議員

問 「古川」の地盤沈下対策事業の工事内容は。

答 ○村長

「古川」の工事内容ですが、現在、敷設されている鋼矢板護岸を取り換える内容となっています。

問 この工事で、現在より川幅が狭くなることは無いのか。

答 ○経済課長

現地の詳細な調査を行い、決定される予定です。

問 上流のほうが下流より低い。逆こう配対策としての川底をしゅんせつする工事は同時に行うよう要請したい。

答 ○村長

今後の設計の中で要請していきます。



古川

Q. ごみ収集事業への提案

A. 地域のニーズに合わせルールづくりをしていく



服岡ごみ投棄場

小川政徳 議員

問 ごみ集積所までが重くて運べない

家庭（要支援世帯）のごみ袋を、他市町のように玄関先まで回収にいけないのか。

答 ○村長

日常生活支援については、公的なサービスだけでなく、隣近所の支え合いや地域のボランティア、また元氣な高齢者が担い手となり支援をするなど、多様な担い手による助け合いができる

地域づくりが必要であると考えています。

問 粗大ごみを、トラックなどで運べない世帯に対して、「粗大ごみ回収券」などを発行して回収事業ができないのか。

答 ○村長

服岡投棄場までの粗大ごみの運搬の手段等について、だれがどのようにに申請し、どのような手段で行うべきかを研究し、地域のニーズに合わせルールづくりを考えしていきます。

Q. 村内を走る、車両速度の抑制を

A. 道路整備とともにソフト対策を強化します

小川政徳 議員

問 快適な道路状況である村内の道路で、スピードを出して危険な自動車への対策はなされているのか。

答 ○村長

幹線村道では、歩車分離の道路整備を実

施してきたところです。生活道路では、ハンプの設置、狭窄対策を実施し、速度抑制対策を行っているところでもあります。今後は運転者のマナー、モラルにも積極的に訴えソフト対策も強化していきたいと考えます。



すこやかセンター南側のハンプ

Q. 北拠点避難所の活用は？

A. 避難所の維持管理は村で実施し、活用を広げていく



伊藤秀樹 議員

問

小学校跡地に待望の避難所が完成

しました。心配される津波や災害時の避難場所として大変心強く思います。そこで避難所の維持管理はどのように行っていく予定か。

答

○村長

避難所の維持管理は、村の公共施設であるため、村で実施していきます。

なお、防災ボックス及び発電機等の点検や備蓄品等については、毎月確認を実施しています。

問

ここで防災訓練や避難訓練をすることになると思うが、村としてどのように活用していくのか。

答

○総務部次長
防災訓練は、地区全体の訓練ばかりでなく個別の団体及び地区単位での活用を検討しています。

問

他の避難所ではどのような活用実績があるか。

答

○村長
南拠点避難所で、古政地区の皆さんが、自主防災の方を中心に地区の防災訓練を行って

います。大宝地区においては避難所の施設説明会と防災に関する講話会を開催しています。

今後は、防災に関して、避難所をさらに活用していただけるように、区

長・自主防災班長を中心に、地区の防災訓練及び防災教室等を行っていき

問

地元の住民が使えることは出来るのか。

答

○総務部次長
大いに利用して

もらうことで、施設に慣れていただきたいと思います。

問

避難所の南側は何が計画があるか。

答

○総務部次長
仮設住宅の建設

予定地として考えています。

問

桜など植えて、村民の憩いの場として親しみのある避難所にしていただきたい。

答

○村長
今後の検討課題とします。



北拠点避難所(南)

Q. フリーWi-Fiの設置を

A. 先進導入事例について研究し、検討について

伊藤秀樹 議員

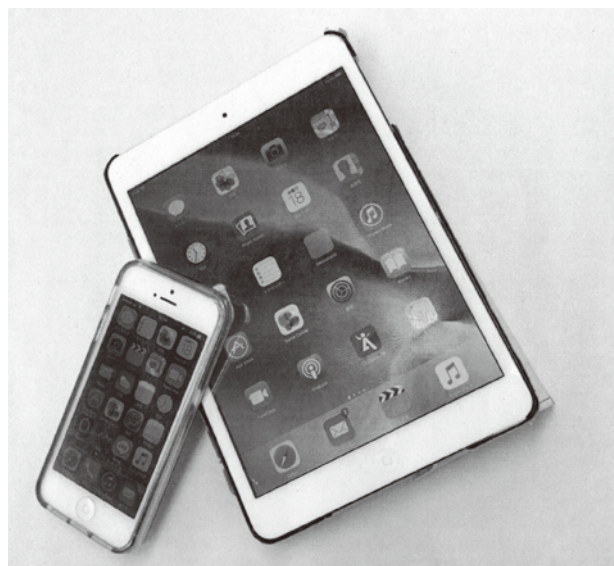
問 最近、公共施設でフリーWi-Fiを整備しているところを見かけます。

日本政府も取り組んでいるようだが、飛島村はフリーWi-Fiの設置をどのようにお考えか。

答

○村長

現在国では、「2020年までに主要な観光・防災拠点における重点整備箇所（避難所・避難場所に指定された学校等を含む）について、国が作成する整備計画に基づき、無料Wi-Fi環境の整備を推進する。」



Wi-Fi環境があれば…

とされており、総務省でも、「非常時には住民等の避難用に、平時には教育用に活用できるWi-Fiの整備を積極的に支援していくこと」としているところですが、まだ、

現況調査の段階で補助金等の具体的な内容については、示されていません。今後は、国の動きと先進導入事例についてよく研究をし、どの場所に整備し、どのように活用していくかなど、前向きに検討していきたい。

問 他の自治体の動向を見てからでなく、率先して設置し他の自治体のお手本になってもらいたい。

答

○村長

国の対応を見極めながら前向きに検討を進めていきたい。

Q. 対向車確認の表示板設置を求める

A. 地下道の安全な通行を検討します

渡邊一弘 議員



問

村内にある地下道の中でも、旧中学校東の名四国道を渡る地下道は、深さも対向車の確認が非常に難しい。表示板の設置を求める村民の声を聞きました。私も設置したほうがよいと考えますが、いかがお考えなのかお答えください。

答

○村長

国道23号に存在する地下道11カ所のうち、車両の通行が出来る地下道が9カ所あります。8カ所については、譲り合わなければ通過が出来ない幅員構造で、通過する場合は、地下道の中で鉢合わせになることを回避するため、お互いが徐行

し、進行方向に対向車の有無を確認し、利用するのか常態であります。

議員提案の地下道への進入車両に対する対向車への周知方法として、車両接近の表示板では信号機のように通行を規制するものではありませんが、侵入する際の注意喚起には有効と考えます。

しかし、侵入する際には、これまで同様に徐行対向車確認等、安全確認を十分行っていたことは必要であります。

今後は、より安全に地下道が利用頂けるような対策を検討していきたいと考えております。



旧中学校東アンダーパス

Q. 野菜作りの推進を

A. 有効な支援策を検討していく

渡邊 弘 議員

問

村内の畑の休耕が目立ちます。定年退職後の畑作を推奨し、健康長寿、生きがいづくりのために村として何か方策を打ち出すべきだと考えます。野菜作りのガイドブックの作成、講習会、小型農機の貸出等考えられます。ひとつずつ進める時期だと考えますがお答えください。

また露地野菜のネギ・ほうれん草は村の代表格



特産品のネギ

答

○村長

定年、離職後の畑づくりは、生きがいづくりになると考えています。

現在は、すこやかセン

ですが、後継者も少なく存続のために村の後押しが必要だと考えます。大規模農家、認定農家など国の補助が受けられるような露地農家はない状況です。零細農家にも村として少しでも後押しすべきだと考えますが、お答えください。

ターとふれあいの郷にて産直市を実施させていただいています。産直市の拡大を目指し、積極的にご参加していただくことで、畑づくりをされる方々の生きがいになっていけばと考えています。

農地を守るためにも、野菜作りに意欲のある方には、今後、支援策を検討してまいりたいと考えています。

また、野菜、花き等の農家への後押しですが、現在、各種団体へ支援をさせて頂き、農業の振興と団体活動の育成を図っています。

どのような後押しが有効なのか問題解決のために何が必要かを話し合い、有効な支援ができればと考えています。

Q. 健康の森公園に健康遊具を設置せよ

A. 既設遊具の活用促進を図る

橋本 渉 議員

問

いま、全国的にも健康遊具の設置で健康増進を進める自治体が増えています。名古屋市中でも健康都市宣言をおこない都市公園内に600基の健康遊具を設置して指導員などを派遣し利用推進しているそうです。

飛島村も健康の森公園に健康遊具を増設し健康増進を進めるべきです。

また、敬老センター内にあるジムは、健康増進に役に立ち利用者は喜んでいます。

しかし、開館日が月曜日と金曜日しか開いていないので、毎日開いてほしいものです。



答

○村長

健康の森の利用者は少ないのが現状です。その原因として、遊具等の使用方法が分からないとのこと指摘もありましたので、今回補正予算を計上して健康の森の全体の看板、並びに遊具の使用説明と配置看板を設置し、利用環境の整備を図ります。



健康遊具はあるが…

また、高齢者の健康づくりと介護予防を推進するために、老人クラブの例会を利用して健康の森

ウォーキング等の新規プログラムを実施し、既設遊具の活用を促進を図りたいと考えています。

なお、増設については、今後の利用実績を見て検討します。

次にこれからの介護予防は、社会参加や生きがいづくりを含めた取り組みが重要とされています。介護保険制度改正に伴い、介護予防・日常生活支援総合事業の中で、理学療法士等による介護予防の取り組みの機能強化、充実を図ることとされていることから、高齢者の集いの場であり介護予防事業の拠点でもある敬老センターの運動実践室の教室を週5回開催します。

Q. 職員の再任用は65歳まで雇用せよ

A. 現在は年金未支給の間の再任用としている

問

職員の再任用制度は平成13年度から施行されています。平成13年度から共済年金のカットが始まったため退職者の生活を支えるために設けられた制度ですが、飛島村では再任用制度は実施されていませんでした。

平成25年度からは退職者の年金がすべて無くなり将来は65歳まで無年金になります。

そのため政府は年金がもらえるまでの間、フルタイム勤務として再任用するものとされています。飛島村も政府の方針のとおり65歳まで再任用を実施すべきです。

飛島村の条例でも再任用制度は65歳までとなっています。

答

○村長

再任用制度とは平成25年度以降、公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢が段階的に60歳から65歳へと引き上げられるに伴い、定年退職する職員が公的年金の支給開始年齢に達するまでの間、再任用を希望する職員を再任用するも

のです。

職員への制度の利用促進については、再任用制度の対象となる退職者に対して、再任用の希望を聴取するとともに、勤務条件及び制度の概要について、チラシ等を活用して、50歳以上の職員に対し周知しているところで

す。
なお、配属先については、今後、職員の人事異動等に合わせ、退職前の勤務実績及び技能を考慮し、本人のこれまでの経験、知識等を発揮できるように決定していきたいと考えています。

Q. 梅之郷と新政地区の一部の再開発を

A. 実情に即した用途区域を検討します

服部康夫 議員



問

国道302号の開通に合わせて、梅之郷と新政地区の一部（農免道路の東側）を農振除外をし再開発を。

特に梅之郷地区302号の近くに住宅が多く、都市計画沿道開発により、運送業・倉庫業・モータープール・資材置場等が住宅の周りに繁雑し、住環境に適しているとは言えない。ゆえに梅之郷地区は経済と住環境を考え、農振除外から市街化に進むように都市マスタープランを策定し、計画をたてたらどうか。

答

○村長

「梅之郷地区と新政地区の一部の再開発」についてですが、議員もご承知のとおり農業振興地域の農用地域内の農地（いわゆる青地）では、農地以外での土地利用が制限されており、理由のない農振除外は認められておりません。

また、現在、国土交通



役場事務室

省が鋭意、国道302号一般部及び専用部となる近畿自動車道伊勢線の工事が進められています。これらの工事は、本村臨海部に位置する名古屋港臨海部の一部地域として物流の拠点、航空宇宙産業が立地するあいちのもののづくりを支える重要な地域であり、これら地域とのアクセス強化のため整備が進められているところでもあり、同時に、梅之郷地区・新政成地区

にはそれぞれインターチェンジの建設も予定されているところですので。そうしたことから、これまで以上に当該両地区の沿道は、流通業務企業の進出も想定されます。村としては、平成32年度に都市計画マスタープランの見直しを考慮しており、両地区土地利用についても、これら工事の進捗をふまえながら計画を策定していきたいと考えています。



梅之郷地区の農用地

第2回 臨時会 7/11

この議会では、契約について議決が必要な案件2件について審議しました。

議決契約

役場庁舎内に防災センター建設

工事場所

竹之郷三丁目1番地

契約の金額

1億1253万6000円

契約の相手

飛島木材株式会社

契約の方法

6社による指名競争入札

(全員賛成で可決)

地域の分団の消防車両を購入

納入場所

第1分団車庫他

契約の金額

3563万1000円

契約の相手

平和機械株式会社

契約の方法

6社による指名競争入札

(全員賛成で可決)

議会広報編集委員会

7/29 愛知県町村議会 広報研修会

7月29日の第29回愛知県町村議会広報研究会で「議会報の基本と編集技術&議会広報クリニック」と題し、議会広報サポーターの芳野政明氏の講演を拝聴しました。

皆さんに、分かり易い「議会だより」を目指します。

